

市区町村名	新居浜市	担当部署	消防本部予防課
		電話番号	0897 - 65 - 1342

### 1 取組事例名

- ・ 廃棄消防ホースのリサイクル

### 2 取組期間

- ・ 令和元年度～（継続中）

### 3 取組概要

- ・ 消防の現場活動で使用できなくなった消防ホースをリサイクルし、新たな道具として生まれ変える。

### 4 背景・目的

・ 消防の現場活動で使用されるホースは、その用途から耐圧、耐削、耐熱、耐炎性に優れた材質でできており、1本の値段は約3万円と高級品である。しかし、消防の活動現場で使用する道具であることから、使用にあたっては、破損等のない万全な状況での使用が求められるため、破れなどが生じると廃棄となるが、ホース1本の長さは20mとまだまだ材料として使用できる箇所は沢山ある。「もったいない…」このことから、消防ホースのリサイクルを行うに至った。

### 5 取組の具体的内容

- ・ 廃棄される消防ホースを回収し、洗浄、裁断、組立を行い、作成された物を庁舎前へ設置する。



【廃棄ホースの回収】



【部品の作成】

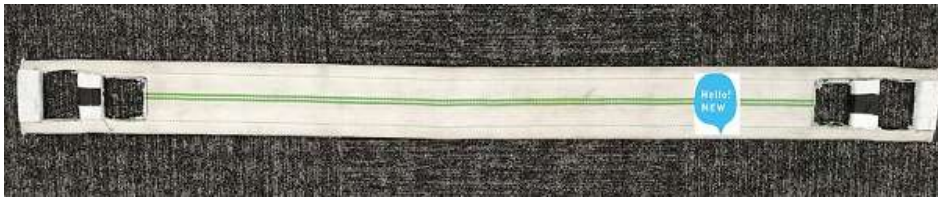


【組立】



【庁舎前への設置】

- ・廃棄される消防ホースを回収し加工、救急車へ配備する。



【加工】



【救急車への配備】

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・消防ホースの特徴である防水性を活用した傘入れ、高い強度を利用した救急隊が使用する要救助者救出器具（レスキュー帯）等、消防ホースの特性を利用した。

## 7 取組の効果・費用

### 【傘入れ】

- ・ビニールの傘入れと違いゴミの発生が抑えられ循環型社会への貢献が認められる。
- ・雨天時に庁舎内が濡れることによる滑りや汚れが軽減され、職場の安全性が向上した。
- ・「つけよう!! 住警器」と文字を注記することで住宅用火災警報器の広報ができた。
- ・実際に現場で使用していたホースの一部を来庁者に見て、触れてもらうことにより消防へ興味関心を持ってもらった。

### 【要救助者救出器具】

- ・レスキュー帯については、救急車へ配備し、実資機材として活用している。
- ・浴槽内等の狭隘な空間で意識を失った傷病者は、救出が難しく傷病者を落下させるリスク、隊員が膝を痛めるリスク等があったが、軽減された。

### 【費用】

- ・廃棄される消防ホースを使用するため、費用はほぼ発生していない。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・業務の空き時間を利用して作成しているため、リサイクル品の作成や新規企画が困難であったが、再任用者を活用することにより、定期的な作成が可能となった。

## 9 今後の予定・構想

・消防ホースを材料としたペンケース、小銭入れ等を作成し、火災予防運動等の各種行事の際、普及啓発用のグッズとして配布を行いたい。

## 10 他団体へのアドバイス

・廃棄される消防ホースは材質としては、丈夫で高性能、高品質で様々なものへの加工が可能です。仕事を終えた消防ホースをぜひ、日常に利用する新しい物へ生まれ変えてみてください。

## 11 取組について記載したホームページ

・特になし